

(別紙5)【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-154

補助事業名 平成26年度 計量計測の普及及びグローバル化対応の調査研究等  
補助事業

補助事業者名 一般社団法人 日本計量振興協会

1 事業の概要

(1) 事業の目的

ISO 10012 計測管理規格を各企業内に導入することにより、計測管理システムの運用モデルを作り、企業内に活用を促進し品質を向上に資する。

(2) 実施内容

① 計測管理の普及及びグローバル化対応の調査研究

計量計測管理の国際化に対応した ISO/JIS Q 10012 規格「計測マネジメントシステム—測定プロセス及び測定機器に関する要求事項」は、我が国の製造企業内における体系的な計量計測管理システム構築の活用のための有力なツールである。同規格を企業内に導入・活用するために、手引書や事例集の整備、企業の計量計測担当者や計量士への技術講習会を行うとともに、企業への導入支援として第三者認証審査でのパイロット登録審査を試行実施するために、有識者、計量計測・品質管理の専門家等で構成される委員会を設置して調査研究を実施した。

委員会では、ISO/JIS Q 10012 規格の概要と動向、規格の要求事項と要点解説、規格の企業内普及活用事例、及び製造業における「計量確認」と「測定プロセスの実現」の事例並びに測定の不確かさの活用事例に関して、製造関連企業の情報収集や調査研究を行うとともに、同規格の認証審査体制を構築するため、第三者認証機関の(一財)日本品質保証機構(以下、JQA)と協業して検討を進めた。

以上の実施内容を、「計量計測の普及及びグローバル化対応(ISO/JIS Q 10012)調査研究報告書」に取り纏め、企業、団体などに配布した。また、当協会主催、JQA 後援の「ISO/JIS Q 10012 技術講習会(参加有料)」を東京及び名古屋の2箇所で開催した。



第1回 調査委員会  
(H26. 10. 28)



ISO 10012 技術講習会  
(H27. 2. 27 名古屋会場)



ISO 10012 技術講習会  
(H27. 3. 3 東京会場)

## 2 予想される事業実施効果

### (1) 計量計測の普及及びグローバル化対応の調査研究

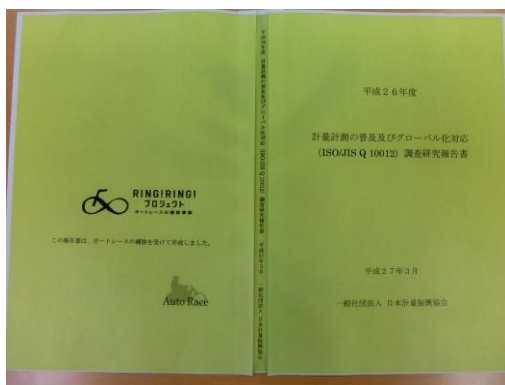
計量計測管理の国際化に対応した ISO/JIS Q 10012 規格に基づく企業内計量計測管理システムの導入は、新たな発想による我が国の製造企業における品質向上及びリスク管理の取り組みである。また、その適合性認証体制が第三者認証機関により構築され、パイロット登録審査を試行実施することで、今後、全国的規模での発展性が期待できる。その前提として、全国主要な製造企業や計量関連機関・団体に所属する技術者や計量士などを対象にした ISO/JIS Q 10012 技術講習会を継続的に開催することにより、人的資源の拡大化が図れる。

## 3 補助事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

[http://www.nikkeishin.or.jp/img/jka\\_hojo/h26\\_iso\\_jisq10012.pdf](http://www.nikkeishin.or.jp/img/jka_hojo/h26_iso_jisq10012.pdf)

・計量計測の普及及びグローバル化対応（ISO/JIS Q 10012）調査研究報告書



## 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 日本計量振興協会(ニホンケイリョウシンコウキョウカイ)

住所： 〒162-0837

東京都新宿区納戸町25番1号

代表者： 会長 加島 淳一郎(カシマジュンイチロウ)

担当部署： 総務部(ソウムブ)

担当者名： 総務部長 加藤 覺(カトウサトル)

電話番号： 03-3268-4920

F A X： 03-3268-4924

E-mail： [soumu@nikkeishin.or.jp](mailto:soumu@nikkeishin.or.jp)

U R L： [www.nikkeishin.or.jp/](http://www.nikkeishin.or.jp/)